

一般質問

能勢 秋吉議員

平成19年度予算編成について

Q 当たり、どのような基本を打ちだしましたか。また、特例債等適用事業はありますか。

A 基本的な考え方としては、持続可能な財政運営を堅持する立場から、身の丈に合った予算をつくっていくことになろうかと思えます。そのなかで、限られた財源の有効な活用を図ることが大事です。この際、でき得る限り前例踏襲という考え方ではなく、新たな発想に基づき限られた財源のなかで何ができるか、何をすべきかと取捨選択をはっきりとさせていく必要があると考えております。事業全般にわたりました新たな挑戦をしていかなければ

ばなりませんし、創造力を発揮しなければなりません。

Q ①住民サービスの向上につながる行政の組織づくりおよび市民と協働によるまちづくりを実現するための市民懇談会の開催についての見解をうかがいます。

A ①住民サービスを低下させないためには、将来を見据えた行政組織が肝要であり、人間にたとえれば山武市の背骨（中枢）づくりを急がなければならぬと考えています。その背骨を固めたなかで、しっかりとした組織づくりを行い住民サービスの向上を目指します。また、市民懇談会については、市民との懇談の機会はあると考えています。

萩原 善和議員
分庁方式による住民サー

ビスについて

Q ①住民サービスの向上につながる行政の組織づくりおよび市民と協働によるまちづくりを実現するための市民懇談会の開催についての見解をうかがいます。

A ①住民サービスを低下させないためには、将来を見据えた行政組織が肝要であり、人間にたとえれば山武市の背骨（中枢）づくりを急がなければならぬと考えています。その背骨を固めたなかで、しっかりとした組織づくりを行い住民サービスの向上を目指します。また、市民懇談会については、市民との懇談の機会はあると考えています。

南部の市町との温度差は感

じる。そのなかで、特に旧松尾町、旧蓮沼村は航空機騒音直下であり、この問題を軸としていろいろな施策を講じなければならぬため、空港圏である成田を意識せざるを得ない。

そのことを踏まえ、県の構想である第2ステージの横芝光町との合併は、できるだけ早い合併（10年以内）を目指すことを考えている。

行木 静議員

病院に関して救急医療センターと成東病院の立て直しについて

市所有の土地並びに建物について

局番の変更について

Q ①医療センターを山武地域につくることは必要か。また、成東病院内科医師の年度末までの確保の目安はあるか。

②市所有の旧町村保有の財産の利用状況は、特に大きなもので旧山武地区の出光の跡地と旧成東地区の児童保健院の建物と土地についての利用計画と進捗状況を

聞かせてください。

③電話番号の局番の変更に
ついて、旧松尾地区から他の地区への通話料金は市外通話料金となり、この逆も同じです。局番を統一すれば公的にも私的にもかなりの経費の節約になるが市当局の考えは。

A ①医療センターは必要である。成東病院は来年四月の内科医の人事で、七名以上にならないと立て直しは不可能、この人事でのお願いを核として千葉大学だけでなく私立大学にもお願いしている。

②出光の跡地は具体的な案はまだなし。地域の意見を聞いて利用方法を考える。児童保健院の跡地もまとまった利用計画はない。早急に方向性を出していく。

③局番の変更はNTTと協議したことはない。時間がかかる問題である。

石井 正茂議員

松尾・横芝IC周辺の土地利用について

航空機騒音対策交付金に

5